

イモリしんぶん

Vol. 12

発行日：2021年 12月 14日

発行：朝日塾中等教育学校 理科

アカハライモリの模様

アカハライモリといえば、お腹（腹側面）が赤いイメージがあると思います。実際にそうで、成体のイモリのお腹は赤いです。

高発色でフレッシュなオレンジ



※オス成体アカハライモリの腹側面です。

お腹の模様ももちろん特徴的ですが、どうやらアカハライモリの全身の模様はある程度多様性があるようです (Matsui et al. 2003)。学校で飼っている成体アカハライモリについては、いわゆる一般的なタイプ（背中が黒く、腹は赤くて黒い斑点がある）だそうです (Matsui et al. 2003)。



図A. アカハライモリのメス背側面 図B. メスの右外側面 図C. オス背側面

アカハライモリのお腹の赤色

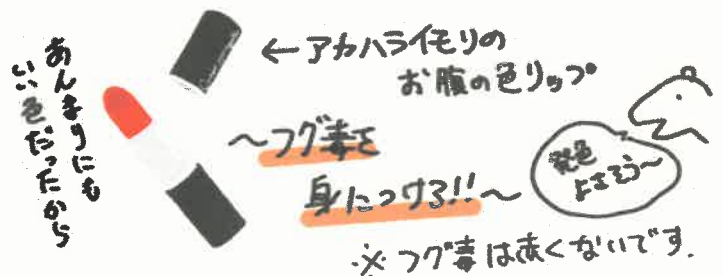
アカハライモリのお腹の赤色は、警告色だとされています。警告色とは、自分には毒があるとエサとして捕食される前に知らせる機能を持つ色のことです (啓林館 生物)。実際に、アカハライモリには、フグが持っている毒と同じテトロドトキシンを持っています (e. g. 門田ら 2020)。

門田ら (2020) によると、アカハライモリの毒は皮膚や筋肉に多いそうです。フグの毒は内臓に多いようなので、同じテトロドトキシンでも分布域が異なっていて面白いですね。

この記事でアカハライモリに毒があることがわかり、怖くなった人もいるかも知れませんが、でも大丈夫です。このイモリの毒は外因性（自分で毒はつくれない）であり、毒をつくるようなエサは与えていません。でもイモリに触らないでください。

参考文献

Matsui, K., Marunouchi, J., Nakamura, M. 2003. Red Variants of the Japanese Newt (*Cynops phyllrogaster* (Amphibia : Salamandae) : Review of Records and Captive Observations on the Heredity of Coloration. *Current herpetology* 22(1):37-42.
門田信幸・草間啓・稲村修・山内望由季・松本拓也・浅川 学. 2020. 富山県魚津市産アカハライモリのフグ毒性. *魚津水族館年報* 29: 79-83.



次回 アカハライモリの模様2